

解 答

52. (D)

53. (A)

54. (A)

55. (C)

56. (A)

52. 「私は課題を仕上げるために1日中勉強しています。まだ終えてはいませんが、もう作業のほとんどは終わりました」

【誤】(D)were→【正】was

- ▶ 主語であるall of my workが単数扱いであるので、動詞も単数形のwasとします。このallは「すべて(のものの[事])」という意味の代名詞ですが、「すべての人々/すべてのものの[事]」という意味では複数扱いとなります。

■ 代名詞allの単数/複数

① [単数扱い] 「すべて(のものの[事])」

[例] All of the town **was** destroyed by a fire. [単数扱い]

(町は火事で全焼した)

② [複数扱い] 「すべての人々/すべてのものの[事]」 [複数扱い]

[例] All of the students **were** late.

(学生全員が遅刻した)

53. 「結婚後、ウェンディは京都に引っ越しました。当初は苦労しましたが、夫が彼女の日本語学習を手伝い、何人かの友人もできてからは、日本での生活を楽しむようになりました」

【誤】(A)After she got marriage→【正】After she got married

- ▶ marriageは「結婚(生活)、結婚式」という意味の名詞ですが、「結婚する」という場合はget marriedとなります。

「結婚」に関する表現

□ marry ~ 「～と結婚する」 (=get married to ~)

She **married** her classmate. (= She **got married** to her classmate.)

(彼女はクラスメートと結婚した)

He **married** his daughter to Tom.

(彼は娘をトムと結婚させた)

□ get married to ~ 「～と結婚する」

Jake **got married to** [<sup>x</sup>with] Jane last June.

(ジェークはジェーンと去る6月に結婚した)

□ be married to ~ 「～と結婚している」

- ▶ A is married to Bはmarry A to B「AをBと結婚させる」の受動態です。get marriedは「結婚する」という『動作』の意味を明確にする場合の表現です。

She has **been married to** [<sup>x</sup>with] him for six years.

(彼女は彼と結婚して6年になります)

54. 「私の父はスマートフォンが家族の会話の量を減らすと不満を言っています。緊急時でもない限り、一緒に食事をしている間はスマートフォンを使うべきではないと主張しています」

【誤】(A)amount of→【正】the amount of

- ▶ 文意よりamountは会話の「(総)量」のことを指しているなので、定冠詞theを補います。なお、本問でのinsist thatは「～だと主張する」という意味なので、下線部(B)は正しい表現です。

that節内で原形または「should+原形」を用いる動詞

□ **suggest**[**propose**] 「提案する」

□ **order**[**command**] 「命令する」

□ **demand**[**require**] 「要求する」

□ **advise** 「忠告する」

□ **insist** 「(強く)要求する」

□ **recommend** 「勧める」

※ **suggest**を「～をそれとなく言う(示す)」、**insist**を「～と主張する」という意味で用いる場合、**that**節内は直説法となります。

[例] He **suggested**[**insisted**] that I **was** wrong.(×...that I (should) be wrong.)  
(彼は私が間違っていると遠まわしに言った[言ってきた]がなかった))

55. 「私の友人は今朝、成田空港から発つ飛行機に乗り遅れました。というのも、空港までの道が大渋滞していたからです」

【誤】(C)there were→【正】there was

- ▶ 「There+be動詞...」の構文では、be動詞の後の名詞が**単数**か**複数**でbe動詞の形を変えます。本問での**traffic**(交通量)は不可算名詞で単数扱いとなるので**were**→**was**となります。

☐ **leave from** ~ 「～から出発する」 ⇔ ☐ **leave for** 「～にむけて出発する」

☐ **on the way to** ~ 「～へ行く途中で」

I saw her **on the way to** the station.

(駅に行く途中で彼女を見かけた)

56. 「白い鼻症候群はコウモリに害を及ぼす深刻な病気です。この病気はアメリカ中に急速に広がり、2007年の冬以来、何百万匹ものコウモリがこの病気で死んでいます」

【誤】(A)which affecting→【正】which affects

- ▶ **which**自体が誤りの可能性もありますが、関係代名詞の先行詞は**a serious disease**(深刻な病気)と考えられます。関係代名詞節には主語がないので、**which**は正しい主格の関係代名詞と言えます。主語の後に**doing**を続けることはできないので**which affecting**→**which affects**、もしくは**which is affecting**とします。